

なみ

6月号
vol. 160



特集

かわ 草の流るる 草むらに

「第4回」

ひとりずつ特別な、ココの色
COCO hand work shoes
望月智恵さん

「街に生きる」
千本北2丁目付近にて撮影

皮革のまち、西成・浪速。
革にまつわるモノゴトを
蛇行する川のごとく
訪ね歩いていきます。

訪ね歩いていきます。

草の流るる
か
わ
ら
ん
な
ら
う
に

〔第4回〕

ひとりずつ特別な、ココの色
COCO hand work shoes
望月 智恵さん

この記事は2017年10月に阪急うめだ本店10階「うめだスーク」にて西成製靴塾が主催した「靴職人の手仕事展」の展示資料として作成されたインタビューに若干の修正を加えたものである。

COCOのつくる靴

——COCOの名前の由来はなんでですか？

最初は個人個人の「個々」っていうイメージで「COCO」にしました。ひとりずつ足の形が違うので、ひとりずつ、個人個人に合った靴を作りたいっていうイメージで名前をつけています。KじゃなくてCなのは当て字で

ばデザインでやりたいって思うんでしょけど、私は美大も出てないし芸術センスもないし(笑)。でも色って、人それぞれ、好きな色が違うじゃないですか。それがいいなと思って。

——何色くらいあるんでしょうか？

今は19色から選べます。これも段々増えてきて、レモンと黄色とか、キヤメルと茶色とか、「どう違うねん」って感じですけど、やっぱり微妙に違うんですね。例えばメイソンの革とパイピング



すけどね。文字にした時に、やっぱり丸い方が可愛いですね。

靴がとってもカラフルです
ね。

「カラフル」っていうのは最初から思っていました。人と差別化したいなと思って、自分に秀でたものが全く無かったから……。デザイン性とかがすごく良けれ



の組み合わせになる。この中で
全と同じものを選ぶ人ってそう
いないから、自分と全同じ靴を
見つけられない感じでしょ。そ
ういう特別な自分だけの一点も
のつていうのがいいなと。

——ファッションの中心に持つ
て来れそうな色ですね。

みんなやっぱり靴って二番手
なんですよね。洋服があつての
靴っていうイメージ。でも私は
靴を一番に持っていていきたい
から、洋服は地味目に抑えて靴
だけバン！って派手にすると
か、この洋服を履きたいから
今日はこの洋服を着ようとか。
COCOをそういう靴にしたい
な、そうりたいな、と思つて
ます。

靴から靴へ

——靴をはじめたキツカケはど
ういったことだったんでしょうか。



—— 靴を作っていて楽しいところは、どんなところでしょうか。

か準備して、卒業の途端に始めましたね。最初は2人で始めたんですが、意見や方向性に違いが出てきて、2年目からは1人でやっています。

—— 対話が大切になりそうですね。
話をしようと思ってます、たくさん。パツと渡して「ハイ、サヨナラ」とかじゃなくて。

それがハマった時、納品の時に「あ、すごいイイやん！」ってなった時は楽しいー！それにその人を思い浮かべながら作るっていう作業がすごくいいです。

—— これからやりたいことはありますか？
もうちょっと前の方がすごく

—— お店を開かれて、今どのくらいですか？
2008年に製靴塾に通って2009年に独立して、だから今年で8年なんですけど、なんだか8年目で今すごくいい状態。形になってきたかなと思いますね。8年もやってたらいぶ上手になってるし、採寸の感覚とかも分かかってきた感じですね。

私の作りたいものを作るというよりも、お互いに意見を出して、いっぱいいい話をして作っていくのが合ってるんだと思います。だからお客さまもこちらに要求して欲しいなって思うし、私も色んな情報が知りたいし、普段どんな服を着てるか、他には何色を持ってるかとか、そういうことも聞いて、たくさん話をしますね。

—— 学校に通う中で、お店を開くことを考えはじめたんですか？
そうですね。製靴塾に通っている1年間は、365日ずっと靴をやってたと思います。家でもパターン引いてたし、習った事を復習したり。それがもう楽しくて仕方なかったんです。そんなにハマったことが今までなかったから。それまでも色んな習い事もしてるんですよ、和裁とか着付けとか、陶芸、金継ぎとか。でもその中でもダントツで靴が楽しかったし、興味があるとすぐ覚えられるんですよね。だからすごく楽しかったですね。それでこれからは靴を続けたいって思いました。

ありました。だから最初は趣味というか、自分で靴が作れるってなんか面白そう、っていうので行ってるから、別に独立して：っていうことも全く考えてなかったんです。

いっぱい話をして作っていく

—— 卒業してすぐにお店を開かれたんですね。

3月末に卒業して4月4日にオープンしました。それまでに場所の契約をして内装のことと



野望があったんですけど、全国展開みたいな笑。でも、大きくして手が及ばないよりも、手が届く範囲でやりたい。自分の手が全部に行き届く規模がたぶん今くらいなんです。結局、自分が作るってことは、たくさんは作れないし、そのたくさん作れない中の靴を、いかに丁寧に向き合っ作っていくかっていうのが、多分自分には向いてたなって思っただから今はそんな全国区にするとかは考えず西区で細々とやりたいと思います笑

文責：若松司



COCO hand work shoes

〒550-0004
大阪市西区靱本町 1-14-9 三輪ビル 1F
TEL : 06-6443-5141
URL : <http://coco-shoe.com>

にしなりもん

西成にもまだまだ発掘されていない文化資源・社会資源は存在するはず。これら西成産のモノやコトを「にしなりもん」と名づけ、その由来やエピソードを辿っていきます。

コロナきっかけで 振り返る店たち

新型コロナウイルスの影響で今月号は取材を自粛し、今までで印象深かったお店を振り返ります。

まずは鶴見橋商店街にある「ゼットバー」。個人的にはすでに何度か行っていたが、取材依頼するのは初めてなので変に緊張した。すんなりオッケーしてくれたマスターと談笑しながらの取材は楽しかった。取材後も行ったが、通えば通うほど楽しくお酒が飲める不思議なお店。

「ゼットバー」のマスターに紹介してもらったお店が隠れ家的カフェの「2612 CAFE」。店の雰囲気はかなりオシャレで、雑貨も販売されていた。生まれて初めてスフレオムライスを食べたのもこのお店。店名の「2612」という謎の数字の正体は住所であり、なんとも親切設計な店名だ。

鶴見橋商店街の「金龍」。取材では日替わりランチのトンカツをいただいた

が、名物のうなぎ丼はまだ食べていない。早く行かねばと思っている。

今宮駅近くの「Bar Sunkrunk」は仕事の帰りに思わず寄ってしまうお店。あの辺りにはあまりない雰囲気、BARで、難波との距離感といいニッチに合ったお店だと思う。

「甘味屋 ハマヤ」の記事には「よくぞあのお店を取材してくれた」との声をいただいた。知る人ぞ知る有名な老舗だったらしい。

実は取材をお願いして、今まで一度もお断りを受けたことがない。アポなしの突撃取材に関わらず、どのお店も快く受けてくれたことが、このコーナーを担当して嬉しかったことの一つ。



西成は人情味が溢れているところだと改めて感じた。あとはプ

イベントでお邪魔したときに意外と覚えてくれているのも嬉しい。常連になったお店もいくつかあった。

振り返ってみると、西成だけでおいしいお店や個性的なお店がたくさんあった。まだまだ隠れた名店はたくさんあるだろう。拙文がみなさんの目に触れる頃は、緊急事態宣言は解除されているだろうか。営業自粛や短縮営業で経営に頭を悩ませていたお店も、本格稼働に向けてがんばっておられることだろう。また以前のようにお伺いできたら、と切に願っている。

最後に『なび』をご覧いただいている飲食店経営者みなさま、突撃取材依頼でも受けていただけると助かります。にしなりのええところ、いっしょに広めましょう。

印象に残った町名

「西成」というまちには古い歴史が多いことを、旧町名碑の取材を通して知ることになった。



地元の人間でありながら知らなかったまちの歴史、一つ目は有名な歴史上の人物である豊臣秀吉や千利休の師匠・武野紹鷗らが西成に訪れ、屋敷で休憩し茶の湯を楽しんでいたこと。その屋敷が「天下の茶屋」「殿下の茶屋」と呼ばれるようになり、現在の町名「天下茶屋」として残った。こんな由来があるのだから、天下茶屋周辺を探索すると面白い発見があるだろう。

二つ目は、地元の「鶴見橋通り」「鶴見橋北通り」「長橋通り」「出城通り」「南開」「中開」「北開」が一九一一（明治44）年か

ら行われた今宮第二次耕地整理事業の完成によって誕生したということ。

三つ目は、西萩町という旧町名である。現在の花園町2丁目、鶴見橋1丁目、旭1丁目、萩之茶屋2・3丁目の各一部の名称だった。この町名は、大正14年に現在の西成区にあたる地域が大阪市に編入されたときに生まれた。南海電鉄の駅名として使われたのち、駅の西側の地域の町名に使用されたという事情がある。調べていると、この界限は漫画『ジャリ子チエ』の舞台のモデルになっていたことがわかった。

西成区役所の前にある「西成区顕彰碑」は、一三〇年以上の長い歴史と伝統や文化がある。地域への愛着や誇りを育み、地域力の維持・向上に寄与する目的で二〇一八年に設置された。

これからは西成区についてあれこれ調べていこう。何も知らないよりも少しでも知っていたほうが、歴史情緒にあふれるまちであることを実感できる。そのことを身をもって知った。

文責：山村裕太・寺島史視



【田岡秀朋】 あっという間にネット会議、ネット申請がスタンダードになりつつある。情報格差がますます大きな格差につながる時代。低廉な情報インフラ整備とICTバリアフリーを考えなきゃ。



【佐々木敏明】 やはり夢失意つころう春霞葉桜が栄耀栄華を駆逐する人がみな眼球で主張するマスク薫風がウイルス促す触媒に



【沖田一志】 我が家は玄米を購入してるので、炊飯の前に精米器で精米する。一度に4合まで精米できる機種なのに、ボンコツになって1合しかできない。交換用のVベルトが見つかれば直るはず。



長野公園に勤務するわたくし大門が、勤務地や My フィールドに棲む生き物の生態や豆知識などを紹介していきます。実用的な知識だけでなく生き物好きな人間の私的な関心も多いかも。どうぞお気軽に読んでください。



左：イソヒヨドリの雄 右：イソヒヨドリの雌



vol.11
海辺から引っ越してきた青い鳥
イソヒヨドリ

初夏になりましたが、新型コロナウイルスの話題は尽きませんね。国内の感染者数は下火になりつつあるとはいえ、油断は禁物です。引き続き体調にはお気をつけください。

さて今回は、先日ニュースや新聞でも取り上げられていたイソヒヨドリについてご紹介します。

イソヒヨドリ (学名: Monticola solitarius) は鳥類スズメ目ヒタキ科に属するツグミの仲間です。本種はほぼ世界中に生息し、国内では亜種イソヒヨドリ (学名: M. solitarius philippensis) が全国に広く生息しています。分布地においては海辺から内陸の高地まで幅広く、留鳥(※)として年中姿を見ることができます。大きさは25cm前後でヒヨドリよりもやや小さい感じ です。

特徴は、雄は頭部から上面にかけて青色、そして胸部から腹部にかけては茶褐色という美しい姿。対照的に、雌は全体的に青みがかった灰褐色の鱗模様という地味な姿をしています。また、見た目だけでなく、鳴き声も美しく、ツグミ類に独特の複雑な声で鳴きます。食性は捕食性の強い雑食性で、昆虫類やトカゲ、カエル、鳥類の卵などを食べるほか木の実や果実なども食べます。

さて、決して珍しい種類ではない本種がなぜニュースに取り上げられたのでしょうか？「イソヒヨドリ」

という名前のとおり、本種は国内では海岸などの海辺に多く、内陸部では高地を除いてほとんど見られません。それがここ20~30年で内陸部に進出し、あっという間に「身近な鳥」仲間入りしました。その理由は市街地近郊の都市化と考えられています。日本でこそ海辺に多いとされていますが、世界的に見れば、標高の高い岩場がある内陸の山岳地帯に多いとされます。都市部ではビルなど高い人工構造物が数多く存在し、おまけに天敵となる捕食者も少なく、彼らにとっては絶好の生息場所なのではないかと考えられています。

イソヒヨドリは、春から初夏にかけて長野公園で最も頻繁に見かけられる野鳥の一つです。海辺に近い西成では昔から生息していたと思われるが、全体的に数も増加傾向にあるので、出会う機会も増えているかもしれません。もし見かけられた場合は、観察とともにぜひその美しい声に耳を傾けてみてください。

※ 留鳥：季節による移動をせず、一年中ほぼ一定の地域に住む鳥

大阪府営長野公園

〒586-0051 河内長野市末広町581-1
TEL: 0721-62-2772 FAX: 0721-62-2810
https://www.toshi-kouen.jp/staticpages/index.php/nagano_top



長い休みが明け、久しぶりに友達や先生に会えて嬉しそうな子ども達！ 屋上の畑の草むしりや遊具で元気いっぱい遊んでいます。教室では、画用紙いっぱいにチューリップの折り紙を作りました。



GOO Kids
International School



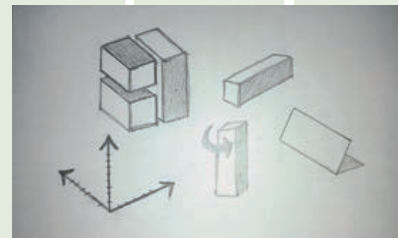
かえる

ハナレバナレになった人とまち。くらしの窓から紡ぐヒントを探してみる。

新たな空間への移動(引越し)で自身のくらしが変わったと書いた前回、今回は反対に、生活スタイルを持ち込むことで空間を変えてゆける、みんなが住まい手というデザイナーになれる、両者影響し合った理想の「住みこなし」を考えてみたい。新築のオーダーメイドの家でも、長年のくらしの変化に合わせて模様替えをし、内装デザインを変え改修していくと、どんな空間は変わっていく。今住む賃貸住宅も建物は変えられなくても、空間は変えていく。

そこで変えるための考え方ツールをご紹介します。窓のように変更しにくいものは脇に置き、まずはあまり現状に囚われず、四角い立体の部屋で理想の形を思い浮かべてみる。分けたリ・引付けたり、重ねたり・ずらしたり、ひっくり返したり・90度だけ回したり、高さを変えたり、掛けたり・張ったり、置いたり・吊ったり、埋めたり・開けたり、立てたり・寝かしたり、丸めたり・広げたり。これにたてよこ・高さの方向を掛け合わせれば、可能性は無限大。次回はもう少し深掘りしてみたい。

(安田拓也)



【安田拓也】自炊して分かったこと(2)毎食違うものを作るのは大変だ。母親に文句なんか言ったらあきませんね。そう考えると家族にずっと家にいられたら、そらめいるやろなと実感。



【西田吉志】「周りの多くの人の困りごとに比べたら自分の小さきなもの。前向きにいかないと」と力んで、「助けて」と言えない人たちがたくさんいるような。けど、声を上げたほうがいい。



【寺島史規】この状況はいつまで続くのだろうか？太鼓ができなくなった生活リズムに少し寂しく感じる。こんな時、家でできることがあれば気分転換になるのにと最近よく感じる。



【谷口円】VTuber的なアバターを作ってZoomなどのWeb会議ツールで赤の他人と雑談・相談できるサービスを考えたりした最近。非対面だし相手がキャラクターだったら色々話しやすいのでは。

葉っぱの吐き見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとお喋りを聞いてください。



「アンスリュームの葉っぱ Part 2 花のメッセージ」の巻

みんな元気かなあ。
みんなに早く会いたいなあ。
あと少しのがまんだね。
みんなに会えたらたくさんおしゃべりしたいよ。
その日が来るのを楽しみに、
いち日いち日ががんばろうっ！

みんなの顔を思いだすと
なんだかドキドキしちゃう。
私の顔はドキドキして赤いのだ。
私の葉っぱさん、いつも守ってくれてありがとう。
みんなに会えるその日まで。
See You Again♡

赤井まゆみ

アンスリュームの花のこと

我が家のアンスリュームが赤紫の蕾をつけました。とても鮮やかで開花が楽しみです。

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



GWが明けた頃の会議で、これまでの新型コロナウイルス対策を振り返るとともに、今後の方策について意見交換した。これまで、職員は半数が在宅でのテレワークを実施しつつも、館そのものは閉館してきた。今後はコロナ対策事業に関する相談の増加が予想されるため、館利用者をはじめ地域の方々にチラシを配布したうえで、館で相談業務をしている旨を電話することにした。高齢者やさまざまな困難を抱える人が行政施策からこぼれ落ちないように最善を尽くすということだ。

また、今後「新型コロナ」と付き合いしていく社会とはどのようなものかを隣保館として考えておかななくてはならない。感染を防ぎながら事業を進める具体的な方法はまだ明確に見えていないが、おそらく館利用者とともに考える仕組みをつくる必要がある。

(寺本良弘)

い湯かげん

大阪モデルで守る2つの生命

拙稿が人目に触れる6月にはコロナの緊急事態宣言も解除され、「大阪モデル」で経済活動も復活しているものと期待している。しかし、コロナ禍には二次、三次があり、長期戦となるから、嵐の後の静けさは次の嵐の前でもある。

吉村府知事は休業要請を段階的に緩和する「大阪モデル」ですっかり人氣者になったが、ボクが共鳴したのは「医療が経済かではなく、どちらも生命を守るもので両立させる」ことが出口戦略のコンセプトだと明快に示したことだった。だからこそ少し不安も感じた。不安の一つは、大阪モデルの3基準は果たして科学的かどうかということ、もう一つの不安は、経済と併走する社会政策を

どれほど用意できるのかということ。ただ、吉村知事はどちらの生命の保障も府民に「見える化する」と断言したのは良かった。とすれば、科学性においては幅広い専門家の登用が重要で、どんな手腕を見せてくれるか期待する。もう一つの社会政策では、現場とどう向き合ってくれるかに注目する。この点では、大阪の社会運動・市民活動も積極的に大阪モデル豊富化に寄与したいものだ。

では、何を提案し実践するかだ。1つ目は生活保障で、大阪の歴代知事・市長は、稼働年齢者への有期生活保障制度を提案してきた。現行生活保障制度は社会保障の補完にとどまり、そのぶん捕捉率が極端に低く即効性に欠ける。それが生活保障をめぐめる感情の軋轢さえ生じさせてきた。この際、急激な生活危機に対応して現場で生活支援する社会運動や市民活動にハンドルを持たせて、生活保障への誘導を奨励すべきだと提案したい。フードバンクやこども食堂や隣保館や社会福祉法人などの現場からのアウトリーチと自治体を繋げて欲しい。

富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからは「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

2つ目は、就労支援と産業支援の一体化だ。休業補償の上限を高くして手続きを簡素化し、無利子無担保の中小企業支援が整備されることを期待したい。失業した場合でも、失業給付に「みなし失業」が適用されることも期待される。経営サポートセンターやAダッシュワーク創造館等中間支援組織の支援力アップに社会投資し、生活相談と就労支援と経営サポートを連動させる手立てが求められる。

3つ目は住宅支援だ。かつてホームレス支援でもその即効性が評価された。働く母子家庭への家賃助成は念願であった。我が働ナイスなどの住宅供給者や不動産事業者の「社会住宅」事業も、自治体の政策を期待しながら家賃滞納、入居者の孤独、子ども達への教育環境支援等に取り組むことだ。

4つ目は人権保障だ。今回のコロナ禍では「患者差別」「医療関係者差別」などへの反応は早かったし、DV被害者への臨時給付金窓口も配慮されたのは良かった。しかし事は長期戦であり、地域における人権保障機能の整備が必要だ。現場の人権活動と自治体が提携するラインナップを市民に見える化することだと思う。

臨時給付金の議論はひと段落し、社会運動や市民活動が奔走し、自治体がそれに整合性を持たせる大阪モデルの次のステージ、出番だ。

待しながら家賃滞納、入居者の孤独、子ども達への教育環境支援等に取り組むことだ。

[山村裕太] 最近自炊をするようになりました。しかし、「焼く・炒める」しか料理スキルがありません。煮る系の料理にチャレンジしようかとも思いますが、いつもめんどくさいが勝利してしまいます。



[若松司] よくマスクの着用を忘れる。心掛けるのだけれど、ついうっかり。周りを見るとカラフルだったりタイプがちがったりする。すでにファッションアイテムの一つなのかも。



地域の縁を心でつなぐ

松崎 心 心の時間

アップル社の創業者S・ジョブズの座右の銘に「ステイ・ハングリー・ステイ・フリーリッシュ」があります。また、チャップリンの映画『殺人狂時代』には「悪は太陽がつくる影」という心に残るセリフがあります。「影は「光」から生ずるように」「愚かさ・悪」に気づいている人は「真実・正しい教え」に出会っているのではありません。もちろん真実に出会っていないのに「私ほど愚かなものはいません」と言う人もいます。これを仏教では「自分を下げる私は偉いでしょう」という「うぬぼれ(慢)」と解し「卑下・慢」と呼びます。仏教では「我慢」は自分の力を過信する「うぬぼれ(慢)」と、「無学」は「学を究めた境地」と、日ごろとは違う意味で使います。同じように「ステイ・ハングリー・ステイ・フリーリッシュ」にも色々な意味が込められています。

「ステイ・フリーリッシュ」を貫いた人として、日本では親鸞が有名です。親鸞は「愚者になりて往生す」と手紙に記し、自分の愚かさに気づいた人はその気づきによって往生できるという考えを残しています。

松向寺 通法

ココドコ

ココはドコ？
わたしはぐへレ？
編集部が厳選した
「にしなり100景」
大公開！

子ども達が遊んでいる何気ない街の風景ですが、奥に見える遊具が大きなヒント。ココがドコかわかった人は、ゆ〜とあいの受付まで！正解者にはドリンク無料チケットをプレゼントいたします(先着10名様限り)。回答期限は6月末日、ふるってご回答ください！

【先月号の答え】 北津守3丁目の西成Wing入り口でした！猫のオブジェのサイズは小さめなので、よく見ないと気づかないかも。



ゆ〜とあい にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび6月号(vol.160)
発行日:2020年6月1日(創刊日:2007年1月1日)
発行:株式会社ナイス
住所:大阪市西成区長橋3-6-33
電話:06-6563-1156
E-mail:info@nice.ne.jp
url:http://www.nice.ne.jp/

編集長:若松司
編集:沖田一志、佐々木敏明、田岡秀朋、
寺島史規、西田吉志、安田拓也、山村裕太(あいうえお順)
イラスト:hidarimakい デザイン:谷口円

facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>

facebook

